

会員各位

# 協会だよりー243(3月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)

触媒資源化協会

トピックス

- 平成25年度の年会費請求書をお送りいたします(3月5日)。
- 第27回JSCRA会(4月12日大洗ゴルフ倶楽部にて)現在エントリー数は14名です。
- 第38期総会を4月下旬に開催いたします(日程調整中)



水仙が顔を出しました(いすみ市太東岬灯台にて)

- 一. 協会よりのお知らせ  
【実施済事項】  
【予定事項】
- 二. 第二十六回月例会終了して  
事務局より(三年度の予定)
- 三. 【雑学】おくのほろ道ツアー――  
越後路・俵石・鼠ヶ関・村上へ

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① 協会だよりー242(2月号)をメール&郵便で送信(2/1)  
第216回月例会(講演会・新年会)の開催  
日時:平成25年2月6日(水)15時より  
場所:JXグループ六本木クラブ  
出席:講演会・・・40名、新年会・・・50名

【予定事項】

- ① 第3回役員会  
日時:平成25年3月21日(木)13:00~14:30  
場所:(株)徳力本店会議室(鍛冶町)  
議題:平成24年度の決算と平成25年度の予算について  
出席:会長、副会長、会計、理事、監事、事務局

② 第6回運営委員会

日時：平成25年3月21日（木）15：30～17：00  
 場所：堺化学工業株式会社会議室（岩本町）  
 議題：平成25年度の月例会検討、担当幹事会社の推薦。  
 出席：運営委員、事務局

2. 第216回月例会終了して

2月6日（水）JXグループ六本木クラブにおいて平成24年度の最終行事である第216回月例会（講演会・新年会）が無事終了いたしました。

参加者50名と多くの会員が出席し、盛大な会となりました。講演は堺化学工業株式会社、株式会社リガク様の協力で最新の情報をお話いただきました。誠にありがとうございます。講演の冒頭に当たり大藤会長より挨拶がありました。



上：大藤会長の挨拶

左：講師の先生を囲んで会長・幹事・担当運営委員の皆様。



3. 事務局より（3月の予定）

月	火	水	木	金	土
2/25	2/26	2/27	2/28	1	2
○	×	×	×	○	×
4	5	6	7	8	9
×	○	×	×	○	×
11	12	13	14	15	16
○	おくの細道ツアー⑬上越、富山			○	×
18	19	20	21	22	23
×	○	×	役員会 運営委員会	○	×
25	26	27	28	29	30
×	○	×	×	○	×

事務局延べ出勤予定：10日（○；終日、△；半日、×は休日）。

#### 4. 【雑学】奥の細道(10-1) 越後路・俵石・鼠ヶ関・村上

今回は羽田空港より全日空、庄内行き895便(12:35発)で出発です。TVでは一週間前より、新潟・山形の日本海側は嵐、大雪などのニュースばかりです。さらには2日前、庄内空港で全日空機のオーバーラン事故等、暗いニュースばかりです。その庄内空港に行くのですから5名ほどのキャンセルがありましたが、それらの厳しいニュースにめげない顔見知りがロビーに集まっています。

羽田のロビーで生ビールをいただき、安定飛行もあり機中でうとうとするうち庄内空港に着いてしまいました。出口ロビーには顔なじみになった庄内交通の高橋さんがお出迎えます。我々参加者一同高橋さんの顔を見て安堵の様子、早速バスに乗り込みます。

おくのほそ道の越後路本文では「酒田のなごり日を重ねて、北陸道の雲に望む。・・・越後の地に歩行を改めて、越中の国市振の関に至る。この間九日、暑湿の勞に神を悩まし、病おこりて事を記さず。」と簡単に記述しているため、曾良随行日記がなければ、現在の新潟の足取りは分かりませんでした。曾良の随行日記のおかげで、旅の足取りは現在ほぼ分ります。曾良さんの日記によれば、

廿五日 酒田立。…大山に着。状添て丸や儀左衛門方に宿。夜雨降。

廿六日 晴。大山を立。…大山より三瀬へ三里十六丁、三瀬より温海へ三里半。…温海に着。鈴木所左衛門宅に宿。弥三良添状有。…

廿七日 雨止。温海立。…今日も折々小雨す。及暮、中村に宿す。

廿八日 朝晴。中村を立。…申の上刻に村上に着。…

だらだらと前置きが長くなりましたが、随行日記によると芭蕉さん達は酒田より村上まで4日間かかっていますが、私たちは半日であつという間の旅です。また大山も県境の鼠ヶ関も、現在は平成の大合併で鶴岡市となっています。

私たちのバスは大山を通過し三瀬へ向かい笠取峠入口に到着、私たちは雨具で装備を固め、芭蕉さんの通った三瀬より笠取峠、小波渡まで決心して雨の中、旧道を辿ります。

この道は現在、途中にがけ崩れがあり、車の交通は止められています、がけ崩れが無ければ辛うじてと通れるように感じました。

下りに入ると、舗装も現れ里山の家々が現れ、ウサギ追いし かの山 小鯛釣りし かの川の故郷の歌を思い出します。この道は現在つるおか「森の散歩道20選」に選ばれています。



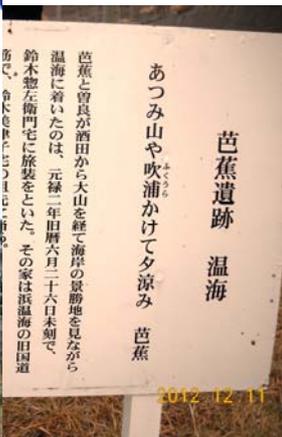
荒天では有りましたが、峠から日本海の荒海を望むのも一興です。現在の国道は一部海を埋め立てた海岸脇を通っています。

【塩俵岩】



塩俵岩はドレライト（粗粒玄武岩）といわれ玄武岩質のマグマが地下に貫入して、ゆっくり冷えたとき出来る岩石で、山形県温海町付近には温海ドレライトと呼ばれる岩体が分布しています。

塩俵岩の駐車場脇には芭蕉の句碑「あつみ山や 吹浦かけて 夕涼み」が建立されています。



温海での宿泊先：鈴木所左衛門宅跡（現在は子孫の住居です）



小刻みな見学で忙しいながら、段々日が翳ってきます。まずは鼠ヶ関を目指します。

### 【念珠関跡】

鼠ヶ関は「白河の関」「勿来の関」と並ぶ奥羽三大古関の一つです。江戸時代には庄内藩と村上藩の境であり、現代でも山形県と新潟県の境となっています。源義経が北陸から奥州平泉へ向かう途中に通った関所として知られています。歌舞伎の勧進帳では越前の安宅関が舞台となっていますが、こちらが勧進帳の本家といわれています。古代の関所は何度も移動したようですが、近世ではこの場所が関所跡と認められています。

鼠ヶ関を越えると越後の国、曾良と別行動で馬に乗り念珠関を越え、芭蕉さんが越後で初めて泊



まった中村までは山中、雨の中、心細い気持ちでしたのではと感じます。私たちの旅も早や、日が沈み暗闇の中、バスは旧道に入りここら辺りが、芭蕉さんが中村で泊まった宿のあった所と大高先生に示されながらも今では忘却のかなたです。私たちの今日の宿は、村上市の奥座敷といわれる瀬波温泉・ホテル瀬波観光です。ホテルの部屋は瀬波の海岸に面していて、天気良ければサンセットが素晴らしいといわれています。村上の酒と言えば、張り鶴、肴は塩引き鮭が有名なので宿の食事に期待しましたが、塩引き鮭はなし、残念！酒は、張り鶴の生しぼりをいただき美味でした。

### 《村上市》

新潟県最北の市。かつては村上藩の城下町として栄え、現在でも市中に武家町、商人町の面影が残っています。人口は約7万人で燕市に次いで県内8位です。北限の茶どころとして有名、三面川の鮭のほか、村上牛が名物です。また皇太子妃雅子妃の先祖、小和田家ゆかりの地でもあります。

芭蕉さんが訪れた当時の村上藩は榊原十五万石の城下町で、藩の筆頭家老榊原帯刀の父に曾良が、かつて仕えたゆかりが有りました。おくのほそ道の本文には村上についての記載はありませんが、曾良の旧知が中村まで迎に來ていますし、芭蕉さんも一緒に曾良の知人を訪ねたりしています。

#### 【芭蕉さん達の村上での宿】

村上では久左衛門の宿に二泊したといわれています。当時井筒屋と称し、旧時代の旅籠の風情のある建物が建っています。現在でも井筒屋の名でカフェレストランを営業しています。

#### 【銘酒・張り鶴】

創業は文政2年(1819)の醸造元・宮尾酒造を訪ねましたが、生絞り原酒は品切れで、蔵元の紹介で田村酒店へ移動、1.81を購入しました。価格は¥2,280、¥3,410で自宅へ発送しました。正月には家族で、これを一杯やる楽しみが増えました。



芭蕉さんは村上で句会も行わず、詠んだ句はありませんが、何箇所かに句碑が建立されています。

【石船神社】

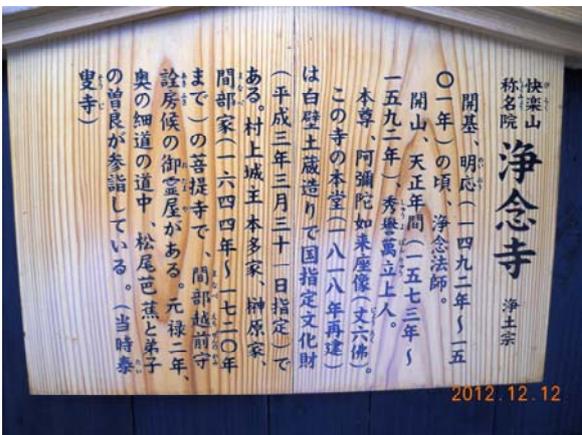
石船神社の鳥居近くに建立されている句碑。



尾花沢の鈴木清風が編集した(ひとつ橋)に記載した芭蕉の句です。村上ではなく江戸での句といわれています。  
花咲いて七日鶴見る麓かな

【浄念寺】

現代的に要約して曾良日記を見ますと、七月一日、折々小雨が降る中、喜兵・彦左衛門・友右宅などを訪ねた。・・・朝のうちに泰叟院(泰叟寺の誤記で、現在の浄念寺のこと)に参り、榊原の墓所を詣で村上を出発した。と書いています。



寺の説明板によると・・・この本堂は白壁土蔵作りで国指定の文化財となっています。村上城主本多家、榊原家、間部家の菩提寺で、間部越前の守詮房侯の御霊屋があります。元禄二年、奥の細道の道中、松尾芭蕉と弟子の曾良が参詣しています。(当時泰叟寺)と記しています。



徳川家継の時代、幕府の要職に新井白石と共に取り立てられた間部詮房は八代将軍吉宗に嫌われ、失脚、五万石の藩主として村上に転封されました。詮房の死後、養嗣子であった詮言がその後越前の国鯖江に転封されています。詮房侯の御霊屋の前にある石灯籠は平成十二年秋彼岸 福井県鯖江市の間部公を称える会より寄贈されたものです。領民にはよき藩主であったのでしょう。

【文責・専務理事】